

博士課程前期課程

学位:修士(保健学)

神戸大学大学院保健学研究科博士課程前期課程は、臨床実践能力、直面する問題を多角的に分析する能力と問題の解決に必要な研究能力を身につけ、研究・教育・地域医療を柱とする総合保健医療の中で活躍できる教育・研究・医療専門職者を養成することを目標としている。この目的を達成するため、以下に示した方針に従って修士の学位を授与する。

看護学領域

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、保健学研究科看護学領域は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- 保健学研究科に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得して審査に合格すること。
- 神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、本研究科の掲げる総合保健医療(total health care)の基本理念のもと修了までに、本研究科学生が身につけるべき能力は次のとおりである。
 - 人間性
 - 豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した看護専門職者として、人々の健康を守るために行動できる能力
 - 創造性
 - 伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる能力
 - 問題意識をもち、現場を改革するための看護実践方法を開発する能力
 - 国際性
 - 多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーションを図る能力
 - 国際的な視点から、各々の地域の状況に最も相応しい形で知識・技術を創造し、国際社会へ発信できる能力
 - 看護学分野の人材として、国際社会で活躍できる能力
 - 専門性
 - Evidence based nursing を基盤とした深い学識と高度実践能力
 - スペシャリストとして、直面する問題を多角的に分析し、解決する能力

- 専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力
- 看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力

病態解析学領域

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、保健学研究科病態解析学領域は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- 保健学研究科に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得して審査に合格すること。
- 神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本研究科学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - 人間性
 - 豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した医療専門職者として、人々の健康を守るために行動できる能力
 - 創造性
 - 伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる能力
 - 国際性
 - 多様な価値観を尊重し、異文化の理解に努め、コミュニケーション能力を発揮できる。国際的に普遍的な価値を持つ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に相応しい形で適用することができる能力
 - 専門性
 - それぞれの職業や学問分野において、深い学識と専門的能力を備え、さらに、専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力

リハビリテーション科学領域

神戸大学のディプロマ・ポリシーに基づき、保健学研究科リハビリテーション科学領域は以下に示した方針に従って修士(保健学)の学位を授与する。

- 保健学研究科に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得して審査に合格する。
- 修了までに、神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、本研究科生が身につけるべき能力を次のとおりとする。

- 人間性
 - 豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、人々の健康を守るために行動できる能力
- 創造性
 - 伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる能力
- 国際性
 - 多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努める優れたコミュニケーション能力を発揮し、国際的に普遍的な価値を持つ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で適用することができる能力
- 専門性
 - リハビリテーション科学において、深い学識と卓越した専門的研究能力を備える。さらに、専門領域を超え、人々の健康を守り行動するチームの一員として協働できる能力

パブリックヘルス領域

神戸大学のディプロマ・ポリシーに基づき、保健学研究科パブリックヘルス領域は以下に示した方針に従って修士(保健学)の学位を授与する。

- 保健学研究科に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得して審査に合格すること。
- 神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、保健学研究科パブリックヘルス領域の学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - 人間性
 - 豊かな教養と高い倫理性を身につけた保健医療専門職者として自立できる能力
 - 幅広く深い教養と総合的な判断力を持ち他分野の人々と協働して地域や国際社会の健康課題を解決する能力
 - 公衆衛生活動の理念、公衆衛生活動の実施に必要なコミュニケーションおよびマネジメント能力
 - 創造性
 - 保健・医療・福祉の現場において地域の健康課題を創造的に解決する能力
 - 地域社会を基盤とした医療・保健システムの開発と科学的根拠に基づいて新しく健康維持をデザインする能力

- 専門知識・技術を基本として、国際保健の現場における課題を見出し、柔軟に対応できる能力
- 国際性
 - 異文化の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を理解する能力
 - 国際的な視野をもち、世界各国における健康水準格差を把握し、その要因を解明する能力
 - 国際的な諸問題に積極的に取り組み、共同研究や活動に参画できる能力
- 専門性
 - 科学的思考力と倫理観に根ざす地域保健及び国際保健の実践を展開できる能力
 - 地域保健及び国際保健に従事する上で必要な高い学識・技術・応用力を備え研究活動を行う能力

博士課程後期課程

学位:博士(保健学)

神戸大学大学院保健学研究科博士課程後期課程は、これまでに修得した分析能力、問題解決能力、研究能力をさらに高度化し、創造的・開発的研究を通して、研究・教育・地域医療を柱とする新しい総合保健医療を創造・実践できる独創的かつ自立した教育・研究・医療専門職者を養成することを目標としている。この目的を達成するため、以下に示した方針に従って博士の学位を授与する。

看護学領域

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、保健学研究科看護学領域は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- 保健学研究科に所定の期間在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得すること。
- 神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、本研究科の掲げる総合保健医療(total health care)の基本理念のもと修了までに、本研究科学生が身につけるべき能力は次のとおりである。
 - 人間性
 - 豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した看護専門職者として、人々の健康を守るために指導的役割

を遂行できる能力

- 創造性
 - 看護学の学術的基盤を発展させるために、グローバルスタンダードを踏まえ、看護学の深い知識や技術に裏付けされたイノベーションをもたらす能力
 - 多(他)職種と連携し、政策過程に参画し、総合保健医療システムの開発や変革をもたらす能力
- 国際性
 - 多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーションを通して国際的な課題を解決する能力
 - 国際的に普遍的な価値をもつ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で適用することができる能力
 - 看護学分野の中核人材として、国際社会でリーダーシップを発揮できる能力
- 専門性
 - 専門領域を超え、医療保健福祉チームと協働するための指導的役割を果たす能力
 - 看護の役割拡大に適応できる深い学識と卓越した専門的能力
 - 最先端のエビデンスを創造するための先駆的な研究能力
 - 看護界を牽引し、次世代の看護専門職者を養成するための教育能力

病態解析学領域

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、保健学研究科病態解析学領域は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- 保健学研究科に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得して審査に合格すること。
- 神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに、本研究科学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - 人間性
 - 豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、自立した医療専門職者として、人々の健康を守るために行動できる高い能力
 - 創造性
 - 伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して創造的に解決できる優れた能力

- 国際性
 - 多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーション能力を発揮できる。国際的に普遍的な価値を持つ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で適用することができる能力
- 専門性
 - それぞれの職業や学問分野において指導的役割を担えるように、深い学識と高度で卓越した専門的能力を備え、さらに、専門領域を超え、医療保健福祉チームの一員として協働して働くことができる能力

リハビリテーション科学領域

神戸大学のディプロマ・ポリシーに基づき、保健学研究科リハビリテーション科学領域は以下に示した方針に従って博士(保健学)の学位を授与する。

- 保健学研究科に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得して審査に合格する。
- 修了までに、神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、本研究科生が身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - 人間性
 - 豊かな教養と高い倫理性を身につけ、知性、理性及び感性が調和し、人々の健康を守るために率先して行動できる能力。
 - 創造性
 - 伝統的な思考や方法を真摯に学ぶとともに、これらの知識を批判的に継承し、受け継いだ思考や方法の中に新たな課題を発見して独自の・創造的に解決できる能力。
 - 国際性
 - 多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、優れたコミュニケーション能力を発揮し交流できる。国際的に普遍的な価値を持つ知識・技術を自ら創造するとともに、各々の地域の状況に最も相応しい形で提案・適用することができる能力。
 - 専門性
 - リハビリテーション科学において、これまでに修得した分析能力、問題解決能力、研究能力をさらに高度化し、創造的・開発的研究を通して、指導的役割を担えるように、深い学識と高度で卓越した専門的能力を備える。研究・教育・健康・地域医療を柱とする新しい総合保健医療を独創的かつ自立して創造・実践できる能力。

パブリックヘルス領域

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、保健学研究科パブリックヘルス領域は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- 保健学研究科に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得して審査に合格すること。
- 神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、修了までに保健学研究科パブリックヘルス領域の学生が、身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - 人間性
 - 論理的考察力と客観的判断力を持ち他分野の人々と協働して地域の健康課題を解決する能力
 - 豊かな教養と高い倫理性を身につけた保健医療専門職者として自立し、指導できる能力
 - 国際保健活動の理念、国際保健活動の実施に必要なコミュニケーションおよびマネジメント能力
 - 創造性
 - 地域の潜在的な健康課題を新たに見出し、エビデンスとニーズに基づき、高い創造性を持って解決する能力
 - 研究・教育・地域保健を柱とする新しい総合保健医療を創造する能力
 - 高度な専門知識・技術を基盤にして、国際保健の現場における課題を見い出し、高度で卓越した対応ができる能力
 - 国際性
 - 文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、多分野にまたがる地球的課題を解決する能力
 - 国際的な視野をもち、異文化の多様性を受容するとともに、世界各国における健康水準格差を把握し、その要因を解明する能力
 - 国際的な諸問題に積極的に取り組み、共同研究や活動を推進する能力
 - 専門性
 - 科学的思考力と高い倫理観に根ざし、高度で卓越した地域保健及び国際保健の実践を展開できる能力
 - 地域保健学・国際保健学の学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を積極的に推進する能力
 - 地域保健・国際保健に関する諸課題を科学的・理論的に分析し社会に発信する能力